

ボランティアさん大募集～!!

こどもと遊ぶのが好きな方、事務局のお手伝いを一緒にして下さる方、お待ちしております。

よろしく願い致します。

アドレス: power-of-children@ezweb. ne. jp



<後援会員 & ご寄付 募集中です!>

この団体の活動は、みなさまの会費とご寄付や助成金で行っています。ご理解とご協力をお願いいたします。

後援会員費 … ご入会頂くと「こどものちから通信」をお届けします。

◎個人 3,000 円/年 ◎団体(1口)10,000 円/年

ご 寄 付 … みなさまのあたたかいお気持ちは、きょうだいさんの笑顔を増やす活動に大切に活用させていただきます。

◎こどものちからの一年は、4月から翌年3月までです。(^_^)

郵便振替番号 : 00170-7-571697

□ 座 名 : 特定非営利活動法人こどものちから

お問い合わせは、住所 : 〒136-0073 東京都江東区北砂 5-20-18-211

Tel : 080-6867-6135 アドレス : power-of-children@ezweb. ne. jp

Facebook : <https://www.facebook.com/kodomonotikara>

ホームページ : <http://kodomo-chikara.org/>

「特定非営利活動法人こどものちから」事務局までお願い致します。

※独立した事務局がないためご連絡は、メールのみでお願いしております。

<ご寄付>◎複数の個人の方々から頂きました。

いつもお心にかけていただきましてありがとうございます。

<小児待合室活動日>…きょうだい・病児・家族に遊んでもらっています。

毎週月曜日・木曜日、第2土曜日・第4日曜日 午前11時～午後2時

<協力団体>※カフェ・アリエッタ

<発行>「NPO 法人こどものちから」事務局

〒136-0073 東京都江東区北砂 5-20-18-211

TEL : 080-6867-6135

アドレス : power-of-children@ezweb. ne. jp



NPO法人

こどものちから

病院に連れて来られても病棟に入れないきょうだいに遊んでもらう活動をしています。



<スタッフ・さいとう はるみ 作>

NO. 11 2016. 6月発行

「こどものちから」お楽しみイベント 第11弾

「Given～いま、ここ、にある しあわせ～」自主上映会

実施日時:2016年5月8日(日)午後1時～3時 映画上映会
午後3時～4時 交流会
実施場所:国際交流会館(がんセンター敷地内)

待合室活動で知り合った7家族24名を含み、総勢74名の参加がありました。

小児腫瘍科科長(小川先生)にご尽力頂き、国際交流会館という素晴らしい会場をお借りすることが出来ました。また高橋映画監督と映画に登場された塩川さんご家族もご参加くださり、ごあいさつまで頂戴しました。参加者の多くは、お子さんが小児がんで闘病中だったり、同じような経験を持つご家族だったり、映画に登場するご家族の労苦が十分理解できる方々でした。だからこそたくさんのメッセージや気づきを頂いたのではないかと思います。

寄せられたたくさんの感想には、「今後生きていくための気づきを頂きました。」
「自分の『今』のしあわせに目を向けることが出来ました。」
「ハートの温かさの伝わる最高の映画で、ゴールデンウィークを締めくくることが出来ました。」他、映画の内容の素晴らしさと登場して下さったご家族への感謝がたくさん綴られていました。

それから1歳から5歳のちびっ子達の参加があり、自然発生的に遊びのコーナーが出来、ボランティアさんの大活躍により、子ども達も親御さんもそれぞれに楽しむことができました。「おりがみしてくれてありがとう」というかわいい感想もありました。(▽)

上映会後は、参加者同士の交流会を行いました。とても賑やかで、まるで同窓会のような和やかな時間となりました。

こどものちから4年目にして初めての取り組みでしたが、アステラス製薬株式会社さまより助成頂くことで、実施できたこの企画です。見える存在や見えない存在、た～くさんのご協力を頂き、無事に終わることが出来ました。皆さまに感謝申し上げます。



終了後、塩川さんからは、「くものうえのハリー」という、とってもすてきな絵本を頂きました。さっそく待合室に置きましたので読んで下さいね。ありがとうございました。



<活 動 報 告>

- ◎小児待合室で、立ち寄ってくださったきょうだい・病児・家族に遊んでもらいました。
2015年4月～2016年3月、実施回数125回。参加スタッフ・ボランティアのべ420人。
訪問してくれた人のべ655人
(内きょうだいさん136人、病児さん219人、親御さん267人、その他33人、見学57人)
- ◎1月31日(日)築地社会教育会館にて、スタッフ・ボランティアミーティング開催
◎2月3日(水)神奈川県立こども医療センターにて、医療者対象講演
◎2月19日(金)森のライフスタイル研究所さまから、カンバ(親指ピアノ)多数ご寄付
◎2月22日(月)アステラス製薬株式会社つくば研究所にて、研究職員対象講演参加
◎3月6日(日)きょうだい支援団体しぶたね主催「きょうだいさんの日」大阪にて見学
◎3月12日(土)病気の子ども支援ネット遊びのボランティア主催「第4回白熱教室Ⅱ」参加
◎3月31日(木)ミラブル主催「ハモニカリトリオ」豊洲文化センターにて、ブース出展
◎5月7日(土)大妻女子大学児童学科学生対象「ボランティア説明会」参加
◎5月8日(日)「Given～いま、ここ、にある しあわせ～」自主上映会、国際交流会館にて
◎5月14日(土)・22日(日)・29日(日)グリーンポートせたがや主催「ファミリー養成講座」受講
◎5月21日(土)根津みのりカフェにて「第4回こどものちから総会」実施
◎5月27日(金)武蔵野大学看護学部3年生対象「病児と家族について」講演
◎6月17日(金)通信11号発行

<今 後 の 予 定>

- ◎6月19日(日)「藤田浩子さんのおはなし会」築地社会教育会館にて、午後2時～
◎6月24日(金)協働ステーション中央主催「十思カフェ」講演、午前10時～
◎7月3日(日)内部研修「すくすく保育事前研修会」築地社会教育会館にて、
◎7月17日(日)網膜芽細胞腫親の会「すくすく」勉強会保育、がんセンター管理棟にて
◎7月31日(日)内部研修「意見交換会」
◎8月6日(土)・7日(日)キャンネットジャパン主催「キャンサーフォーラム」ブース出展
◎10月15日(土)おもちゃ美術館主催「おもちゃ祭り」ブース出展
◎10月頃「焼き芋&BBQ」詳細は決定次第連絡いたします。
◎11月2回「クリスマス工場(カード作り・たこバ)」詳細は決定次第連絡いたします。
◎11月20日(日)きょうだい支援を広める会主催「きょうだい支援実践報告会」参加
◎12月16日(金)通信12号発行

◎小児待合室できょうだいさんや病児と
遊んでもらいます。

毎週月曜日・木曜日、

第2土曜日・第4日曜日 午前11時～午後2時



<待合室の風景>

団体発足4年目…。
 毎月更新される壁面飾りでかわいらしく、そして近隣情報掲載のかわら版が加わり、入口の看板もすっきり、新しくなりました。
 おもちゃや絵本が入った棚の上は、季節の行事を意識して小物が置かれるようになり、おもちゃも絵本も増えて、ここでしか出来ない遊びも楽しみになりました。

2016年3月末現在、会員数69名、登録ボランティア数27名。たくさんの方々に支えられて、待合室で遊ぶのを楽しみに立ち寄ってくれるきょうだいさんや病児さん、親御さんが増えました。(^▽^)
 ありがとうございます。



2015年度会計報告

科目	金額	科目	金額
<収入の部>		<支出の部>	
会費	207,000	病児や兄弟・家族の支援事業	326,712
寄付金	345,610	兄弟支援に関わる情報発信事業	328,719
助成金(住友ゴム工業)	250,000	病児・家族等を対象とした交流事業	251,248
助成金 (オラクル有志の会ボタンティア基金)	170,000	きょうだい支援に関わる勉強会の開催及び学びの機会の提供事業	513,430
助成金(樋口宗孝がん研究基金)	100,000	その他目的を達成する為に必要な事業	0
助成金(プレイリーダー活動助成)	29,538	管理部門	64,259
事業収益(イベント参加費他)	200,841	合計	1,484,368
受取利息	151	当期正味財産増減額	-181,228
合計	1,303,140	前期繰越正味財産増減額	452,286
		次期繰越正味財産額	271,058



2016年5月8日(日) こどものちから主催 自主映画上映会

「Given～いま、ここ、にある しあわせ～」(国際交流会館にて)

<こどもが免疫をあげて健康で喜らすヒント> ~看護師の立場からの提案~

笑いが免疫を上げるのはよく知られていますね。こどもは遊ぶのが本分。早い英才教育より、こどもの側にいる時間をなるべく作りましょう。こどもが空想を拡げ、楽しいストーリーを紡ぎ出す世界、一緒に味わい体験してください。そうそう、こどもは常にあなたを見ている。大人が、お母さんが喜ぶのが大好き！そしてお母さんの安定をお父さんが支えています(準ずる保護者も同等です)

たくさん笑いかけられ、周囲が幸せであることを読みとってはじめて、安心感が生まれ、こどもの免疫も活性化していくのです。

そして、週に一度でもいい、人間の身体には本来自然のリズムが必要です。太陽、山川、大地、海・・・美しい景色の中で呼吸も安定し、自律神経が整っていきます。戸外へ出かけましょう、いい季節ですね。

思春期で難しい時もあるでしょう、それでも向き合い続けることの大切さ。あらゆる恐怖の崖っ淵で我にかえれるのは、あなたが大切だという、愛情のメッセージだけなのです。

奥山文香



<すてきなことがい〜っぱい!!>



森のライフスタイル研究所さまから、カリンバ(親指ピアノ)をたくさん頂きました。檜で出来たカリンバは、とっても優しい音色でした。「カトムシのにおいがする〜!!」待合室にやってきたお友だちは、カリンバの香りを教えてくれました。一緒にシールを貼ってMYカリンバ作りをしたり、楽譜に合わせて演奏をしたり…。もちろんお留守番のきょうだいさんにもプレゼントしました。



江東区森下にある洋服屋さん(snug)から、売り上げの一部をご寄付頂けるというすてきな“繋ごろうTシャツ”のご提案を頂きました。伸縮性があって柔らかくて肌触りが良くて…着心地抜群のTシャツでした。



ホームページが新しくなりました。

<http://kodomonochikara.org/>

よろしくお願ひいたします。(*^▽^*)



<絵本紹介>

静岡県立こども病院医学図書室 塚田薫代

『あさになったのでまどをあけますよ』 荒井良二:偕成社 2011

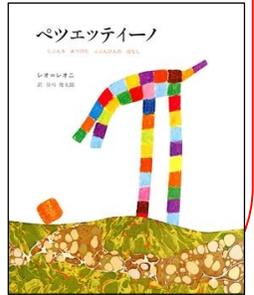
「なにげない日常の中にこそあるしあわせ」をテーマに絵本を紹介してください、と云われて困りました。最初に浮かんだ1冊は、おそらく誰もが選ぶであろうこの本です。

3.11震災後、絵本を送る活動が盛り上がっていた時、当院の心理士から聞いたことです。「前向きにがんばろう！という内容の絵本を選ぶ人は、自分が不安だから。まず自分の心を整えてから、子どもに向き合しましょう」静かな1冊です。



『ペツェッティーン』 レオ=レオニ,谷川俊太郎訳:好学社 1978

この題名はとも言えないわ！と思ったあなた、副題を覚えて下さいね「じぶんをみつけた ぶぶんひんのはなし」です。じぶんは小さいからきつとだれかの部分品だろう、と思って旅をする主人公。グラフィックなキャラクターたちに出逢って、最後の結末は……。大人がはまりそうな絵本です。



<待合室で人気のおもちゃ…くるくるチャイム>

「こんにちは〜」って入ってくるなり、カラフルなボールを手にしてくるくるチャイムで遊び始める子ども達。推奨年齢は、10ヶ月〜4歳となっていますが、おもちゃの頭の穴からボールを入れると、くるくる回って、チーンと音を鳴らして出てくるのを小さな赤ちゃんでも、じーっと見ている。

ボールを持つ・離すは、簡単なようですが、まだ手指の力が付いていない乳幼児にとっては、難しい作業です。ボールを握ってぺろぺろなめていた子が、狙いを定めて穴の上で握った物を離せるようになる。とってもすごいことなのです。そしてくるくる落ちてくるボールを興味津々に眺めて、期待通りに下の受け皿に出てくる。「やっぱりね(*^▽^*)」

とってもシンプルなおもちゃですが、その繰り返しが何とも不思議。“握る・離す”が思い通りに出来るようになってくると、入れる早さや入れ方に関心が移っていきます。手先の器用さと集中力、知的好奇心を養ってくれるおもちゃです。こうして夢中になって遊んでいるときは、大好きなママがいなくても、ボランティアさんと楽しく遊んで待つことができます(^▽)

井上るみ子

